

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： オージェ電子放出核種を利用した放射線内照射治療法の開発
2. 研究代表者： 牧野 颯（福井大学 高エネルギー医学研究センター 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、核医学治療のための放射線源としてオージェ電子放出核種を活用することにより、真の細胞レベルでのがん細胞選択的な放射線照射技術の確立を目指すものである。フェーズ1では、細胞核移行性のオージェ電子放出核種標識治療薬剤の設計・合成、それを封入する膜融合型ナノ粒子キャリアの創製と評価を進め、細胞内取り込み、細胞核移行性向上の成果が得られる等、当初計画に真摯に取り組んだ。一方で、一部の研究項目に進捗の遅延が見られた。フェーズ2では、フェーズ1での遅延を回復することに注力するとともに、in vivo において有効性を明確にし、成果を挙げていくことを期待する。

以上